

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第21号については最新の台風予報を参照。
- 11月1日は、高気圧が北日本付近から日本の東へ移動する。
- 1日から3日にかけて、前線が東・西日本付近にのび、前線上の低気圧が日本の東へ進む。
- 4日は、低気圧がサハリン付近から千島近海へ進む。
- 5日は、華北付近の高気圧が日本付近へ張り出す。

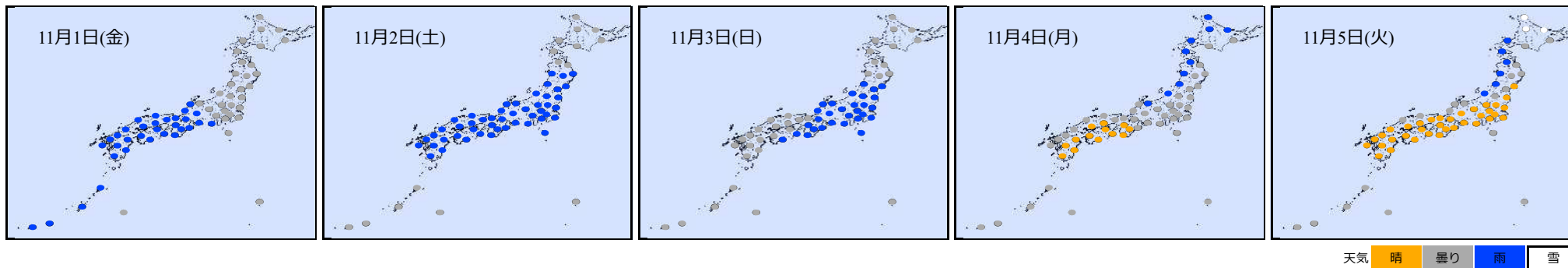
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 台風第21号の影響で、沖縄・奄美では、11月1日頃にかけて、大荒れや大しけとなる所があり、台風の進路等によっては、警報級の大雨や高潮となるおそれがある。
- 31日から11月2日頃にかけては、本州付近の前線に暖かく湿った空気が流れ込み前線の活動が活発になる見込み。西日本と東日本日本海側では、暖かく湿った空気の流れ込みの程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

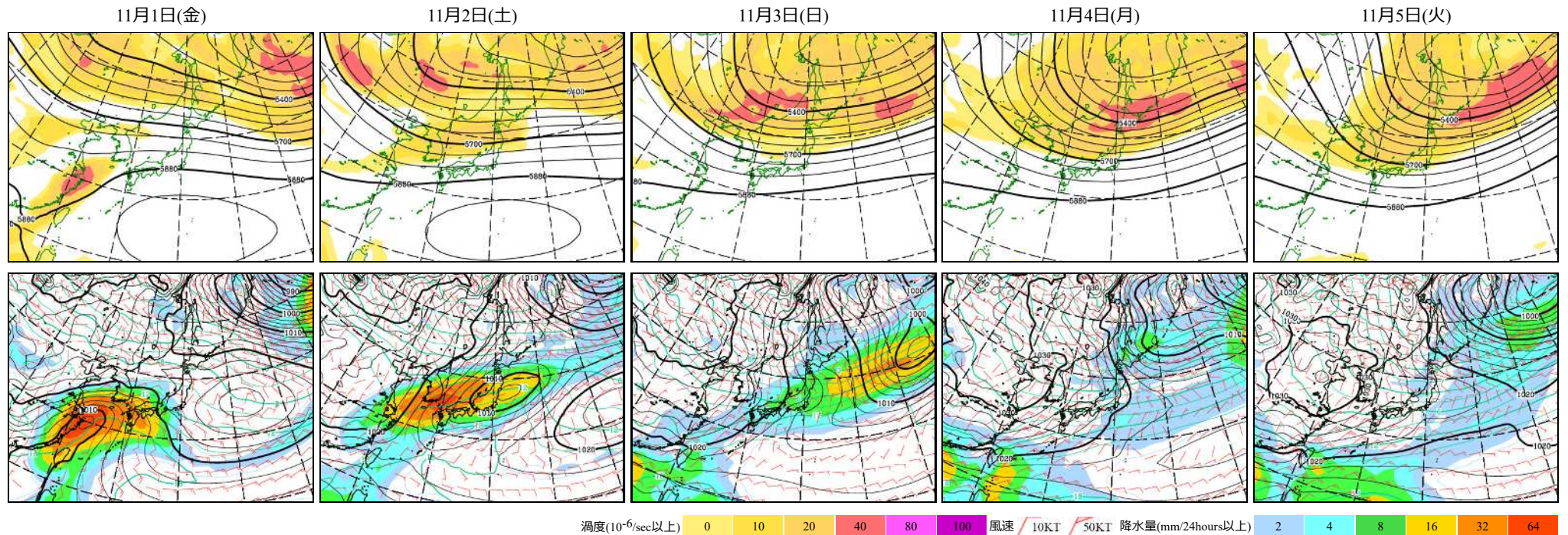
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

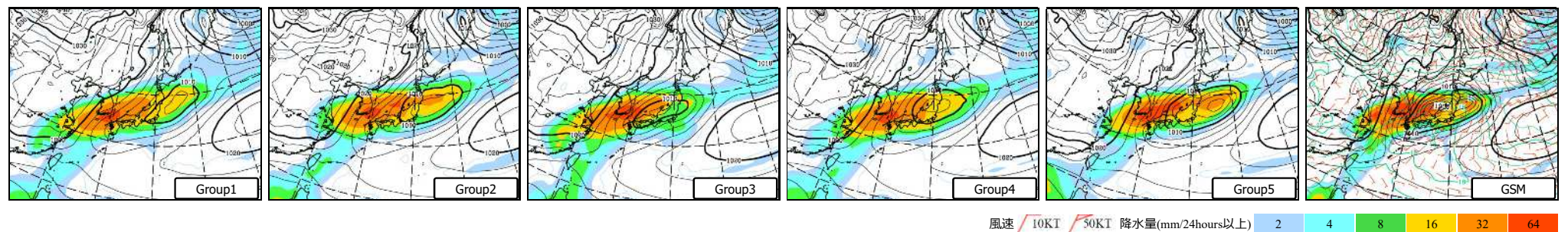


- 北日本は、雲が広がりやすく、11月4日と5日は雨または雪の降る所がある。
- 東日本と西日本は、3日にかけては曇りや雨の降る所が多い。その後は晴れまたは曇りとなる。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、1日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月2日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、11月3日に日本の東へ進む低気圧の東進がやや遅くなり、3日の東・西日本の降水確率が増加した。
- スプレッドは比較的小さいが、4日頃にオホーツク海へ進む低気圧については、位置や発達程度のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- おおむね最新のENSを基に予報を作成する。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。